

郷こども園説明会・見学

郷こども園園長が子育て・当園の保育・入園までの流れについてお話しします

園内見学もできますよ

時間に余裕をもってお越しください

- ◆日時：①令和8年7月16日（木）AM9：30～
②令和8年7月16日（木）AM10：30～
③令和8年7月29日（水）AM9：30～
④令和8年7月29日（水）AM10：30～
⑤令和8年8月19日（水）AM9：30～
⑥令和8年8月19日（水）AM10：30～
各10組まで **※要予約**
説明会・見学は**保護者のみ対象**となります
上記の日以降の説明会・見学はありません

- ◆申し込み方法：
電話または直接ひろばで受け付けています
※HPからのメール問い合わせ、メール受付はしていません
※お子さんの託児は先着4名程度まで可能です

- ◆場所：子育てひろばLet's郷（郷こども園内）

- ◆問い合わせ：子育てひろばLet's郷（郷こども園）
276-8521



子育てひろば「Let's 郷」

白山市番匠町 1501

社会福祉法人 郷福祉会 郷こども園

ひろば・園庭 開放時間

月～金曜日（9:00～14:00）

※予約は直接ひろばで受け付けています

HPからの問い合わせ、受付はしていません

7月

月	火	水	木	金
★ ★ ★ ★		1 保健相談 身体計測 10:00～10:30	2	3 セタ飾りを 作ろう 9:30～11:00
6	7	8 乳幼児 安全の話 10:00～11:00	9	10
13 バランス ボール 10:00～10:50	14 メモリアルカードを作ろう	15 保健相談	16 9:30～10:00	17 おはなしの会 10:30～11:00
20 海の日	21 Let's郷通信発行	22 ヨガ教室 10:00～10:50 ※要予約	23	24 誕生会 10:00～10:15
27	28	29 保健相談	30	31 ベビー マッサージ 10:00～10:45

乳幼児安全の話

赤十字社救急指導員の方から緊急時の対応についてお話しさせていただきます

バランスボール

※要予約 10名

講師：西岡 あかね氏

バランスボールを親子で楽しみましょう

持ち物：参加費（500円）、飲み物

ベビーマッサージ

赤ちゃんの全身運動になり、リラックス効果もあります。親子で触れ合ってみませんか
持ち物：バスタオル

8月



ヨガ教室

※要予約 10名

講師：松下 聡美氏

（ヨガインストラクター）

持ち物：参加費（500円）、

ヨガマット、飲み物

予約の方のみの利用になり、その他の方はヨガ終了後から利用できます

趣味シェア ※要予約

パラコードネームキーホルダーを作ってみませんか
※詳細はひろばにて

月	火	水	木	金
3	4	5 保健相談 身体計測 10:00～10:30	6	7 趣味シェア ※要予約
10	11 山の日	12 保健相談	13 お休み	14 お休み
17	18	19 保健相談	20	21 おはなしの会 10:30～11:00
24	25 Let's郷通信発行	26 ヨガ教室 10:00～10:50 ※要予約	27	28 誕生会 10:00～10:15

※行事予定は都合により変更することがあります

授乳中は赤ちゃんとも目を合わせて

生まれたばかりの赤ちゃんでも、30cm離れた人の顔に注目することが分かっています。授乳中は赤ちゃんの目を見て話しかけてあげ、ゆったりとした気分で向き合いたしましょう。「あーあー」「うーうー」などの声を出した時は、できるだけ応えてあげましょう。意味のある単語は一歳半頃に出せるようになります。それまで、赤ちゃんは「言葉の貯金」をしているので、言葉が話せない赤ちゃんにも、積極的に話しかけることが言葉の発達にはとても大事です。



参考引用文献：日本医師会

離乳食

☆離乳食開始のサイン☆ 5か月から始めましょう

- ・首がしっかりする
- ・支えてあげると座れる
- ・食べ物に興味を示す
- ・口に指などを浅く入れても、舌で押し出すことが少なくなる
(＝哺乳反射による動きが少なくなる)



☆食事のリズム☆

- ・一日の生活リズムで、機嫌のいい時間を見つけて食べさせてみましょう
昼間パッチリと目が覚めている時間なら、消化も良く、胃腸の負担が少なくて済みます。これは自律神経がよく働いているからです
- ・離乳食開始の頃は食べ慣れることが大事なので、量はあまり気にしなくて大丈夫です

「甘い味に慣れさせない」それがお子さんに将来のために、周りの大人ができることです。

参考文献：白山市4か月健診配布資料

☆保湿ケアで食物アレルギーを予防しましょう☆

保湿ケアで皮膚のバリア機能を高めましょう。皮膚には、異物の侵入を防ぐ「バリア機能」があります。ところが、皮膚が乾燥してバリア機能が低下していると、食べ物の成分が体内に入り、アレルギーを起こすことが分かってきました。しっかりと保湿して皮膚を守ると食物アレルギーのリスクを下げる可能性があります。

参考文献：代々木上原こどもクリニック院長 高見 剛監修「ほけんだより」